

令和7年度GIGAスクール構想推進のための管理職研修（第2回）

GIGAスクール構想の実現に向け、管理職として児童生徒1人1台端末を最大限活用した学習環境を構築するとともに、ICT活用による教職員の業務の効率化を推進するために必要な知識等を身に付けることを目的として、標記研修を実施しました。

1 対 象 県立学校・市立高等学校・市立特別支援学校の管理職

2 日 時 令和7年10月29日（水）14：00～15：30

3 研修形態 オンライン

4 研修内容

（1）教育情報化推進室から説明

- ・ 県立学校の現状（成果と課題）
- ・ 教育の情報化の最新動向（小・中学校）
- ・ 「教育DXチェックリスト」について
- ・ ICT活用推進リーダーとの連携について
- ・ 指導教諭の公開授業のアーカイブ化について

（2）グループ協議

- ・ 教科指導におけるICT活用に関する課題と課題解決に向けた今年度の取組状況
- ・ 校務DX進捗状況（今年度取り組んでいる校務DX）

授業DXチェックリスト

【授業におけるデジタル学習基盤活用（授業DXチェックリスト）】

- ・ ステージ1からステージ3で構成
- ・ 教員一人ひとりの授業DXスキルの確認と今後目指すべき次のステージの理解

ステージ1（授業を電子化する段階）

1 教材のマルチメディア化	これまで文章・口頭・白黒図のみだった教材を、画像・動画・音声・カラー図・アプリ等で提示する。
2 資料配布をデジタル化	プリントや資料をClassroom等で配布する。
3 オンライン連絡・授業指示	メール・ループブック・授業に関する指示をClassroom等で投稿する。
4 小テストを端末で実施	小テストや質疑応答を、フォーム・Canva・外部アプリ等で実施する。
5 振り返りの電子化	フォーム等で理解度や学習態度の振り返りをさせる。
6 提出物をオンライン提出	プリント・ノートの写真や文書を、Classroom等で提出させる。
7 電子辞書・辞書の利用	辞書や用語、概念を電子辞書やインターネット等で調べさせる。
8 オンライン配信・動画撮影	授業を配信したり、解説動画を撮影しアップロードしたりする。
9 課題管理やアドバイスの個別配信	Classroom等を活用し、学習進度、提出状況等に応じてターゲットを設けて指導する。

ステージ2（学びを共有したり深めたりする段階）

1 共同編集で思考の共有	スプレッドシート・Canva等で生徒にアウトプットや他者参照の機会を考えている。
2 学習履歴の活用	小テスト・提出物・授業振り返り等の記録を、スプレッドシート等に蓄積する。
3 相互評価	他の生徒の解答や考えにコメントや評価を返したり、学習成果の相互評価をしたりする。
4 多様な課題提出	作成課題、実践・プレゼンの録画、作業データ、プログラム等を投稿したり提出したりする。
5 反転学習	新しい単元をデジタル教材・生成AI等で生徒が家庭で学習し、授業でアウトプットや協働する時間を設定する。
6 リアルタイム協働アプリ	Kahoot・Mentimeter・Canva・Chat等で、生徒・教員がリアルタイムにつながり協働しながら学習する。

授業観察がデジタル学習基盤活用の鍵

【令和の時代】

- ・ これまで誰も経験したことのない大きな課題への直面
- ・ 管理職が率先して行動し、学校全体を牽引するようなリーダーシップが求められる

【デジタル学習基盤活用の鍵】

- ・ 管理職による**授業見学がますます重要**になる

↓
教職員と管理職が一緒になって授業改善を推進する作戦会議の場



【ICTを活用した授業改善】※ICTの活用を前面に出さない

- ・ 発問の工夫
- ・ 評価の工夫
- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現
- ・ 誰もが納得し、どの教科にも取り入れやすいテーマ